

「機械工学実験Ⅱ」の成績評価基準表

A: 定期試験	学籍番号	
B: 課題レポート	氏名	
C: その他(グループディスカッション)		

授業目標	到達基準			評価割合(100%)		
	未到達基準(0~5)	標準基準(6, 7)	優秀基準(8~10)	A	B	C
				%	90%	10%
1. 実験の成果を報告書としてまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 報告書に目的, 方法, 結果, 考察, 参考文献など必要な内容が記述されていない。または期限内に提出できない。	<input type="checkbox"/> 報告書に目的, 方法, 結果, 考察, 参考文献など必要な内容が記述されており, 期限内に提出することができる。	<input type="checkbox"/> 報告書に目的, 方法, 結果, 考察, 参考文献など必要な内容が十分に網羅されており, 期限内に提出することができる。		10	
2. ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を処理することができる。	<input type="checkbox"/> ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を処理できない。	<input type="checkbox"/> ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を処理し, 図表によって報告することができる。	<input type="checkbox"/> ワープロ, 表計算ソフト等を活用して資料を正確に処理し, 明快な図表によって報告することができる。		10	
3. 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を抽出することができる。	<input type="checkbox"/> 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を抽出することができない。	<input type="checkbox"/> 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を抽出することができる。	<input type="checkbox"/> 実験を通して自然現象を観測し, 現象の法則性を正確かつ詳細に抽出することができる。		20	
4. 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を解析し, 目的に関連付けて工学的に考察することができる。	<input type="checkbox"/> 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を解析できず, 目的と関連付けて工学的に考察することができない。	<input type="checkbox"/> 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を解析し, 目的と関連付けて工学的に考察することができる。	<input type="checkbox"/> 工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験結果を正確に解析し, 目的と関連付けて工学的に考察することができる。		30	
5. 技術上の課題に対して有効な手法を提案できる。	<input type="checkbox"/> 技術上の課題に対して有効な手法を提案できない。	<input type="checkbox"/> 技術上の課題に対して有効な手法を具体的に提案できる。	<input type="checkbox"/> 技術上の課題に対して有効な手法を具体的にかつ詳細に提案できる。		10	
6. 実験の内容や結果について議論することができる。	<input type="checkbox"/> 実験の内容について理解しておらず, 議論することができない。	<input type="checkbox"/> 実験の内容について理解しており, メンバー全員で結果について定性的に議論することができる。	<input type="checkbox"/> 実験の内容について深く理解しており, メンバー全員で結果について定量的に議論することができる。			10
7. 工学技術に関する具体的な課題にチームで取り組む際、チーム内の自分の役割を把握して行動し、担当業務の進捗状況をメンバーに報告できる。 (E1-3)	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割を把握できず, 行動できない。 <input type="checkbox"/> 担当業務の進捗状況をメンバーに報告できない。	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割を把握して, 行動できる。 <input type="checkbox"/> 担当業務の進捗状況をメンバーに報告できる。	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割を把握して, 積極的に行動できる。 <input type="checkbox"/> 担当業務の進捗状況をメンバーに報告でき, 全体の進捗状況も把握できる。		10	
備考						